

目標達成計画

作成日:平成27年3月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域との連携や関係が築けていない。信頼関係をより強化にしていきたい。	より地域に密着し、気軽にホームを活用して頂ける様な関係作りをしていく。	地域の催し物には利用者様と出来る限り参加させて頂き、また運営推進会議を通してホームが地域に貢献できる事を伝えていく。	6ヶ月
2	11	職員の介護経験が浅いことから、適正な介護の実践のための教育が必要である。	質のよい介護が提供出来る様職員の指導や研修を行う。	すでに実施している年間を通した研修を活用し、法人の方針を伝えていく。また現場で活用している様に、随時研修内容を見直していく。管理者やリーダーからの指示・指導を密に行っていく。	6ヶ月
3	35	火災通報装置の設置が地階にあり、かつ常時、施錠された会議室にあることから、緊急時に円滑な使用の妨げとなってしまう。	火災における通報装置の設置場所の施錠方法の改善や全職員が通報装置の使用を潤滑に行えるよう周知する。	定期的な防災訓練の実施と常時からの職員への周知を実施していく。また、施錠方法の改善を行う。	6ヶ月
4					
5					
6					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。